

環境まちづくり実施報告書

様式3

令和 7 年 8 月 4 日 (2025 年)				
吹 田 市 長 あて		住所 宝塚市逆瀬川1-14-6 株式会社ウィル ※注1 氏名 代表取締役 坂根 勝幸 事業所 電話 (0797) 74 - 7273		
受 付 番 号	第01-L-16号			
事 業 の 名 称	吹田市原町計画			
対 象 事 業 区 域	吹 田 市 原町2丁目2777-1			
※注1 設 計 ・ 代 理 者	住 所 豊中市清風荘1-5-1 氏 名 有限会社創夢建築研究所 片 山 綾 電 話 () - (担当者:)			
※注1 工 事 施 工 者	住 所 大阪市西区京町堀1-6-20 氏 名 イーアクシスプロデュース株式会社 代表取締役 高木 慎二 電 話 () -			
事 業 予 定 期 間	令和 3 年 (2021 年) 2 月 1 日 から 令和 7 年 (2025 年) 5 月 31 日 まで			
事 業 の 規 模		計 画 部 分	既 存 部 分	合 計
	対 象 事 業 面 積	5,599.78 m ²	m ²	5,599.78 m ²
	建 築 面 積	m ²	m ²	m ²
	延 べ 面 積	m ²	m ²	m ²
	最 高 の 高 さ	m	m	
	構 造 ・ 階 数	造・一部 造		
		地 上 階 ・ 地 下 階		
事 業 の 目 的 ・ 内 容	区分	☐ 新 築 ☐ 増 築 ☐ 改 築 ☐ 新 設 ☐ 増 設		
	☒ 開発行為事業(目的 :) ☐ 建築物の新築又は増改築の事業 (☐ 工 場 ・ 事 業 場 ☒ 住 宅 ・ 共 同 住 宅 (38 戸)) ☐ 商 業 施 設 ☐ 事 務 所 ☐ 公 共 的 建 築 物) ☐ そ の 他 ()) ☐ そ の 他 ())			
	受 付			
環 境 ま ち づ く り の 内 容	ガイドライン取組事項チェックリストによる			
添 付 書 類	・ガイドライン取組事項チェックリスト ・工事関連車両通行ルート図 ・その他必要と認める図書			
				第 号

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針	当社では、社内に「ECO de HAPPYでできることから一つずつ。」というステッカーを貼り、社員のエコ意識の醸成に取り組んでいます。クールビズ、ボトルキャップの収集、使用済み切手の収集、社員は極力エレベータを使用しないこと、両面印刷やミスコピーの利用、無駄な紙資料の削減などを実施しています。一つひとつは些細なことですが、続けることに意義があると考え、日常の業務の中から工夫を積み重ねることで、低炭素社会に貢献します。
----------	--

当該事業における環境まちづくり方針	地形を生かし、造成工事をできる限り抑えた土地利用計画とします。
-------------------	---------------------------------

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率

100

パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数

=

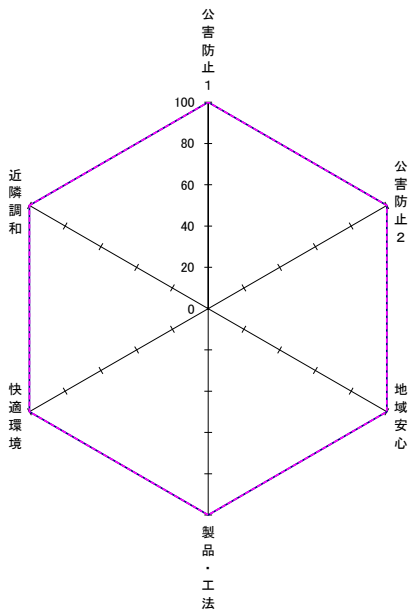
48

該当なしを除いた項目数

=

48

---:方針, -:実施報告書



実施報告書	公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	12	5	3	5	3
方針	公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	12	5	3	5	3

主な実施内容

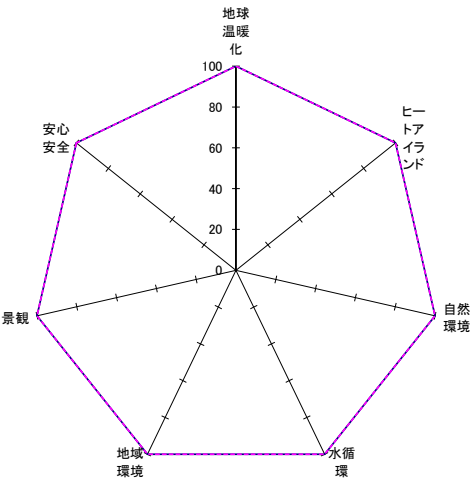
排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機械を使用しました。
周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。
児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせしました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率	100	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	29
(小数点第2位以下切り捨て)			該当なしを除いた項目数	= 29	

----:方針, -:実施報告書



実施報告書	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	8	1	5	3	5	4	3
	8	1	5	3	5	4	3

方針	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	8	1	5	3	5	4	3
	8	1	5	3	5	4	3

主な実施内容

(1) 省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 t-CO2/年

導入内容

LED照明、節水水栓、エネファームなどの給湯機器、省エネ空調の採用、太陽光発電機器や太陽熱利用機器の設置を宅地購入者に提案します。

(2) 緑地面積 緑化率 % 条例基準分 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

造成工事により法面が発生したので、種子吹付や張芝などの緑化を行いました。
位置: 区域外施工部 面積: 約120㎡

(3) 雨水利用 雨水貯留量 235.0 t うち雨水利用量 t

利用目的 ☐ 植栽水やり ☐ トイレの流し水 ☐ 洗車 ☐ その他

(4) 上記以外の主な実施内容

近隣への悪臭、騒音などを防止するため、廃棄物置き場の設置場所に配慮しました。また、窓、換気扇、排気口の位置などに配慮するよう提案します。
植栽樹種は地域の環境に合わせた樹種を選定しました。
公園に防火水槽(100t)を設置するなど災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備機器を積極的に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を行いました。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	
		→	

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害を防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機械を使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	低燃費型の建設機械などをできるだけ使用しました。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図る為、アイドリングをしませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないように、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害、低燃費車の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例に基づく流入規制を、全ての車両で確実に遵守しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯をできる限り避けて設定しました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
13 通勤等で利用する車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図る為、アイドリングをませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設作業時は、仮囲いと養生シートを設置しました。なお、必要に応じて防音シートや防音パネルの設置等、さらなる防音対策を行いました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	粉じん飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への粉じん飛散を防止するため、掘削作業、土砂等の堆積場の設置等を行う場合は、散水等の粉じん飛散防止対策を行いました。
26	アスベストの調査など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	建築物の解体は既に終了しており、該当なし。
27	アスベスト飛散防止対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	建築物の解体は既に終了しており、該当なし。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
28	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路への濁水や土砂の流出を防止しました。
29	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
30	土壌汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	形質変更面積が3,000㎡未満であり、法令の対象外であるため。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
31	地盤改良時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
32	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
33	アスファルト溶解時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを熔融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行いました。
34	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
35	解体時の環境汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	建築物の解体は既に終了しており、該当なし。
36	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレを設置した際は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
37	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
38	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
39	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
40	児童などへの見守り、声かけ	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声掛けなどに取り組みしました。
41	地域の防犯活動への参加	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加しました。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
42	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率のよい機器の利用などにより、工事に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
43	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設発生土は現地での埋戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
44	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。
快適な環境づくりに貢献します。			
景観			
45	仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
46	仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫しました。
周辺環境美化			
47	周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路を汚した際即座に清掃を行いました。
48	場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和			
49	打ち水	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夏期において水道水を確保し、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。			
工事説明・苦情対応			
50	工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせしました。
51	苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮			
52	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺に教育、医療、福祉施設が無いため。
53	騒音、振動などの配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺に教育、医療、福祉施設が無いため。
周辺の事業者との調整			
54	複合的な環境影響の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。		
55 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	延床面積が2,000㎡を超える建築物の新築又は増改築でないため。
56 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)設計	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	消費するエネルギーを極力減らすよう宅地購入者にZEHの提案をします。
57 高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	LED照明、節水水栓、エネファームなどの給湯機器、省エネ空調の採用を宅地購入者に提案します。
58 再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	太陽光発電機器や太陽熱利用機器の設置を宅地購入者に提案します。
59 エネルギー効率の高いシステムの導入	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネファーム、省エネ空調の設備の採用を宅地購入者に提案します。
60 エネルギーを管理するシステムの導入	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	宅地購入者にHEMSの提案をします。
61 冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備を設置する計画ではありません。
62 建築物のエネルギー負荷の抑制	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	断熱性能等級4の住宅を、宅地購入者に提案します。
63 長寿命な建築物の施工	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	劣化対策等級3の住宅を、宅地購入者に提案します。
64 環境に配慮した建設資材などの製品の採用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	宅地内の外構においてインターロッキングを使用する箇所については、吹田市の灰溶融スラグ入りの製品の採用を宅地購入者に積極的に提案するなど、資源循環や環境保全に配慮した製品を可能な限り採用します。
ヒートアイランド対策を行います。		
65 建物屋根面、壁面の高温化抑制	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	建築しない為。
66 地表面の高温化抑制	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	宅地購入者に法面、駐車場緑化を提案します。
自然環境を保全し、みどりを確保します。		
67 動植物の生息や生育への配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	宅地購入者へ積極的に緑化を推奨し、動植物の生息や生育に寄与していただくよう提案します。
68 地域のシンボルツリーの保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	シンボルツリーはありません。
69 既存の植生の保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	既存の植生はありません。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
70	地域に応じたみどりの創出	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	市道名神側道線沿いから北側のプラザ千里山にかけて、既存の緑地帯があり、これの延長線上に公園を設け緑化することにより、緑の連続性を保つようにしました。
71	駐車場緑化	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	駐車場枠内の緑化を積極的に購入者に提案します。
72	屋上緑化など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	予定建築物が戸建住宅で勾配屋根の為。
73	法面緑化	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	造成工事により法面が発生したので、種子吹付や張芝などの緑化を行いました。 位置:区域外施工部 面積:約120㎡
74	植栽樹種の選定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	植栽樹種は地域の環境に合わせた樹種を選定しました。
水循環を確保します。			
75	水資源の有効利用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	雨水を利用する設備(雨水タンク、散水設備など)を宅地購入者に提案します。
76	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	事業区域内の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水貯留槽(235t)を設置しました。
77	雨水浸透への配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	各宅地に駐車場の緑化や土の部分を残し、雨水浸透に配慮していただけるよう、宅地購入者に提案します。又、雨水浸透枿を設置します。
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
78	騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	騒音や振動を発生させる設備の設置がないため。
79	住宅における防音サッシ等の設置	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	高速道路に近い宅地購入者に対しては、防音サッシの設置を提案します。
80	駐車場の配置計画時の配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	戸建用宅地造成の為。
81	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、廃棄物置き場の設置場所に配慮します。また、窓、換気扇、排気口の位置などに配慮するよう提案します。
82	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	ボイラー等の機器は設置しません。
83	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	公園に設置する屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
84	建築資材による光の影響の考慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建築資材(ガラス・太陽光パネル)による太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮するよう宅地購入者に提案します。
85	環境に配慮した塗料の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを宅地購入者に提案します。
86	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺に教育、福祉や医療施設がありません。

取 組 事 項		実 施 の 有 無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)				
87	日照障害対策	☐ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	高さ10m以下
88	電波障害の事前把握及び近隣説明	☐ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	高さ10m以下
89	電波障害発生時の改善対策	☐ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	高さ10m以下
90	プライバシーの配慮	☐ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	高さ10m以下
景観まちづくりに貢献します。				
91	地域への調和	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
92	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。
93	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成に関するガイドラインや方針に配慮した計画及び設計を行いました。
94	重点地区指定に向けた協議	☐ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	計画区域は1ha未満のため非該当。
95	景観形成基準の遵守	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。
96	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☐ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	屋外広告物はありません。
安心安全のまちづくりに貢献します。				
97	歩行者が安全に通行できる工夫	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	歩行者の存在を通行車両から確認できるようカーブミラーを設置しました。交差点には路面に交差点表示をし、通行車両への注意を促しました。
98	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	公園に防火水槽(100t)を設置するなど災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備機器を積極的に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を行いました。
99	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☐ 実施した	☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	防犯性の高い鍵などを導入するよう宅地購入者に提案します。